



フォーバル、 「札幌市中小企業DX加速化・賃上げ促進緊急支援業務」を受託 ～市内中小企業の生産性向上と賃上げ実現に向け、DX伴走支援を本格展開～

『「新しいあたりまえ」で、新しい世界を創るFORVAL』を理念に掲げ、ESG経営を可視化伴走支援する「企業ドクター（次世代経営コンサルタント）集団」の株式会社フォーバル（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中島 将典、以下「フォーバル」）は、このたび、北海道札幌市が実施する「札幌市中小企業DX加速化・賃上げ促進緊急支援業務」を受託いたしました。

SAPPORO



札幌市

事業受託の背景と目的

札幌市では、物価高騰や慢性的な人手不足を背景に、市内中小企業において業務効率化や生産性向上が急務となっており、デジタル技術を活用したDXは、企業の存続と成長を左右する重要な経営課題となっています。国においても、「強い経済」の実現に向け、中小企業の稼ぐ力を高めるための設備投資支援やIT導入支援が推進されており、これらと連動した施策の展開が求められています。

こうした状況を踏まえ、札幌市では、従来の「公募型支援」から、能動的に企業へ働きかける「プッシュ型支援」へと取り組みを進化させることとなりました。フォーバルは本業務の受託を通じ、これまで培ってきたDX支援のノウハウを最大限に活用し、札幌市とともに市内中小企業の実現を強力に後押ししてまいります。

本業務では、フォーバルが市内中小企業全数規模へのアウトリーチを実施し、潜在的な経営課題やDXニーズを掘り起こすとともに、国のデジタル化・AI導入補助金に市独自で上乗せ補助を行う「札幌市デジタル化・AI導入促進補助金」や中小企業がIT事業者とともに実施するデジタル化・DXに関する経費を補助する市独自の「札幌市DX・賃上げ加速化補助金」の活用を前提とした実践的な伴走支援を行います。これにより、短期間でのITツール導入による業務効率化と収益力向上を実現し、賃上げにつながる好循環の創出を目指してまいります。

事業受託の内容

本業務連携における取り組みは、以下のとおりです。

- ・市内中小企業全数規模への架電及びアウトリーチ
- ・札幌市デジタル化・AI導入促進補助金及び札幌市DX・賃上げ加速化補助金獲得に向けた伴走支援
- ・札幌市デジタル化・AI導入促進補助金及び札幌市DX・賃上げ加速化補助金申請支援等

株式会社フォーバルについて

ESG経営を可視化伴走で支援する「企業ドクター（次世代経営コンサルタント）集団」であるフォーバル（資本金：41億5000万円、【証券コード：8275】）は、中小・小規模企業を対象に「情報通信」「海外」「環境」「人材・教育」「起業・事業承継」の5分野に特化したコンサルティングサービスをコアビジネスとしています。

政府が掲げる4つの原動力「グリーン」「デジタル」「活力ある地方創り」「少子化対策」に則り、自治体・民間企業・教育機関・金融機関と連携しながら日本全国でDX・GX人材を育て、その人材が地元経済を活性化させるという好循環によって永続的な地方創生の実現を目指す「F-Japan」構想を推進するとともに、近年ますます注目される人的資本をはじめとしたESG経営の可視化伴走支援に取り組んでいます。

■会社概要

社名：株式会社フォーバル

代表：代表取締役社長 中島 将典

設立：1980年（昭和55年）9月18日

所在地：東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号青山オーバルビル14階

URL：<https://www.forval.co.jp>